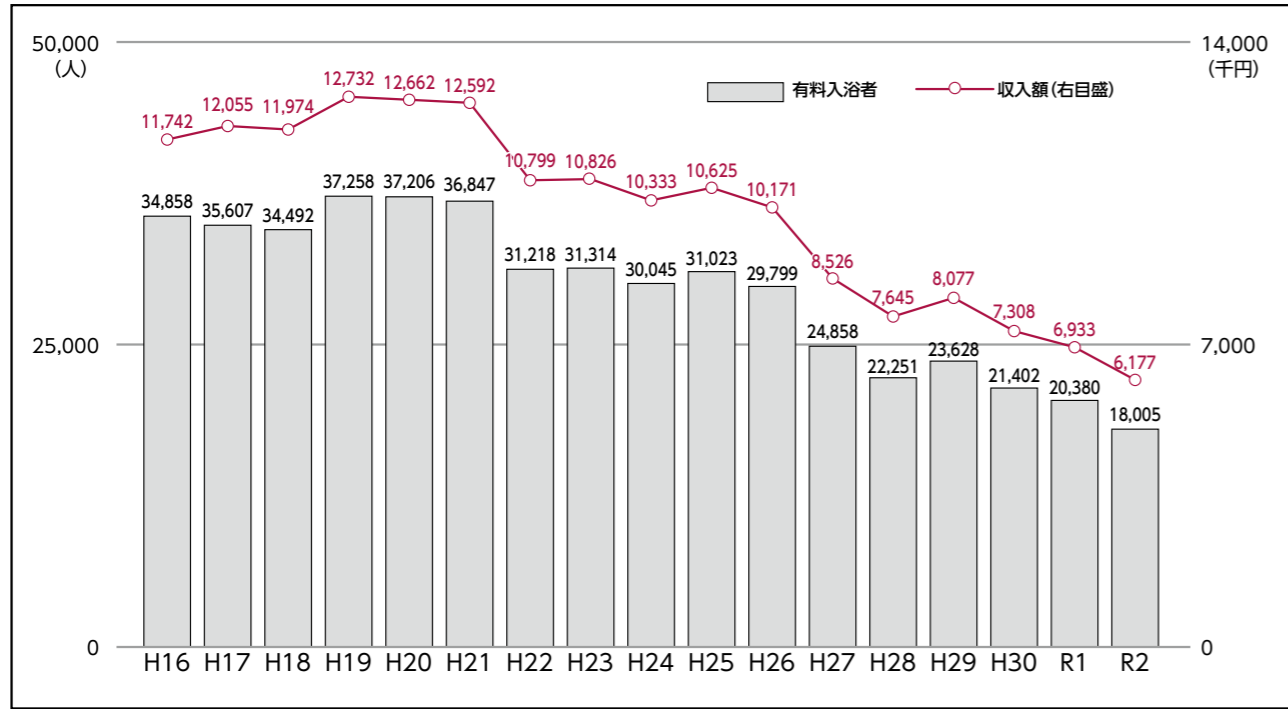
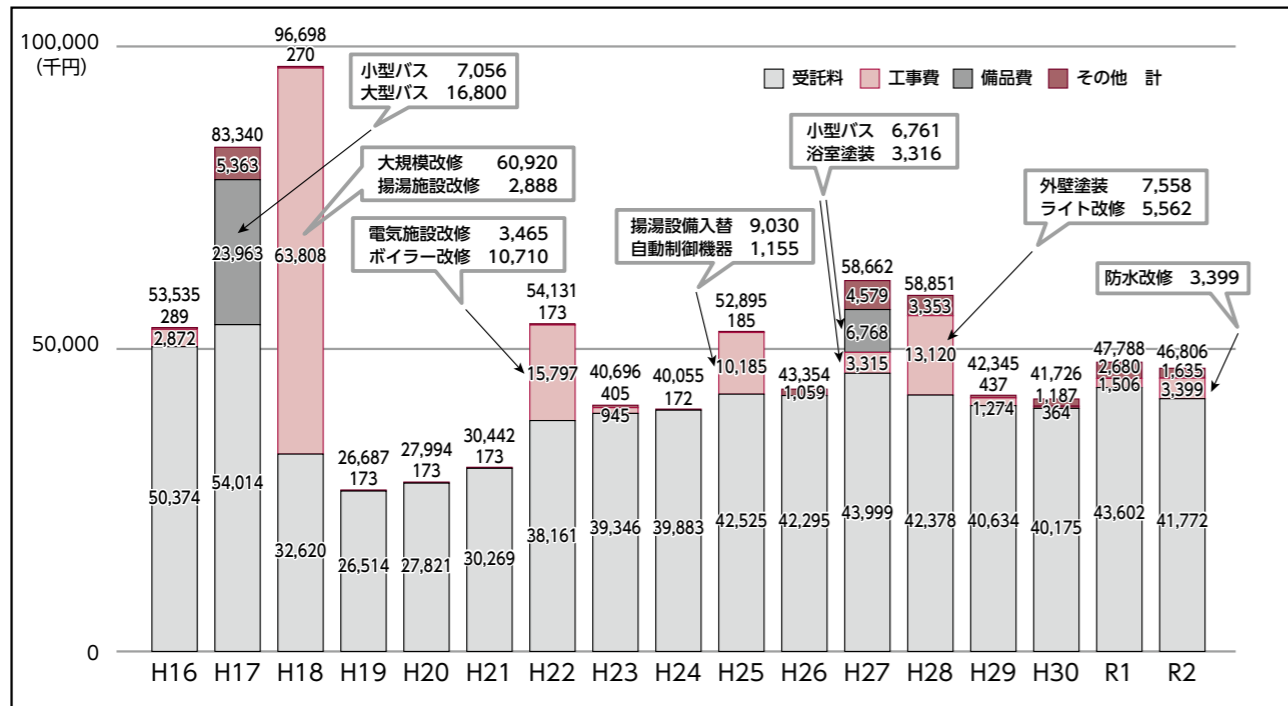


(2) 温泉施設の利用者及び入浴料が減少



令和2年度の有料入浴者数は18,005人で、平成16年度と比較し、16,853人、48.3%減少。また、令和2年度の入浴料収入は6,177千円で、平成16年度と比較し、5,565千円、47.4%減少。

(3) ゆとり施設の維持経費が多額



令和2年度の維持経費の一般会計支出額は46,806千円（委託料算定にあたっては直接収入分（入浴料+高齢者無料入浴券分）を差し引いているので実際に必要な経費は約57,000千円）

営業開始から13年経過した平成18年度に、機械設備、建築・電気設備、浄化槽等を対象とした大規模改修事業を総額60,920千円投じて実施。改修後約15年経過していることから、同規模程度の改修工事が必要な時期となっています。

4 今後の取組

温泉施設の効果を検証しながら、民間事業者との連携による代替施策を検討してまいりますので、皆様のご理解をよろしく申し上げます。

問合せ先 福祉課
TEL: 74-2117

フィットネスプラザゆとり「温泉施設」部分は、令和5年3月末の廃止を予定しています。

1 ゆとり温泉施設廃止を判断した経緯

町は、産業基盤の整備や福祉政策、教育の振興、生活環境改善等の施策立案に当たって、その目的や効果、負担と給付のバランス等の検討を行い、議会における審議を経て、事業を実施しています。

また、継続して行っている様々な事業についても、行政改革の視点から常に検証や見直しを行い、予算の有効活用と、効果の最適化がなされるよう努めてきています。

フィットネスプラザゆとり及び、その中核としての温泉施設は、町民の健康維持、高齢者福祉の増進、憩いの場提供といった公益性がある一方で、温泉利用者と入浴料収入が年々減少し、施設の維持管理に多額の経費がかかるなど、効果と負担がつりあっているとは言い難い状況にあります。

こうした状況が続く中で、ゆとり温泉施設の存廃議論が何度かなされてきましたが、このたび、「将来世代に過大な負担を押し付けてはならない」と判断し、ゆとり温泉施設を廃止する予定といたしました。

2 ゆとり温泉施設の基本方針

ゆとり「温泉施設」部分については、令和4年度末（R5.3.31）の廃止を予定しています。

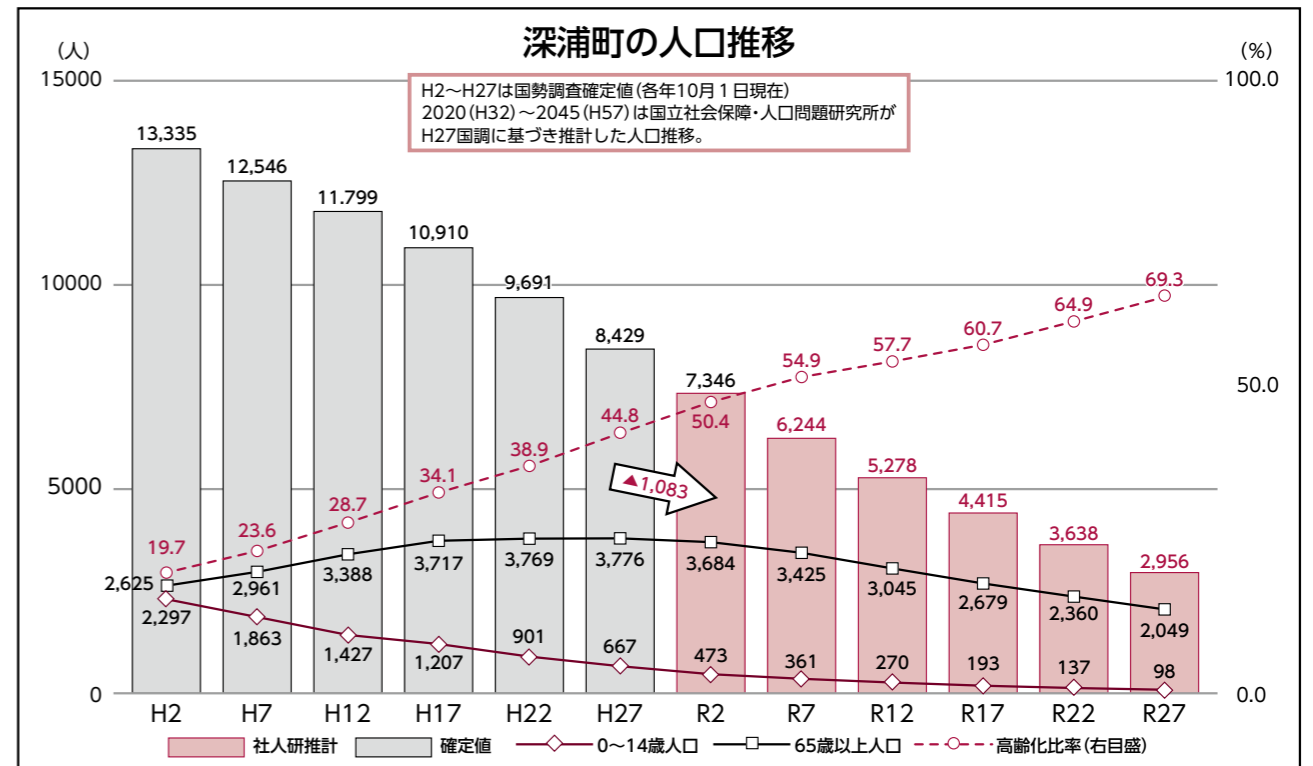
ただし、現在使用している源泉ポンプに不具合が生じた場合は、廃止時期を前倒しします。



深浦町フィットネスプラザゆとり

3 ゆとり温泉施設廃止の理由

(1) 人口減少と財政規模縮小



令和2年国勢調査人口速報値は7,346人で、平成27年と比較し、1,083人、12.8%減少。24年後の令和27年の人口は3,000人程度、高齢化率は69.3%と推計。人口減少とともに、町の主要な財源である地方交付税が減少すると考えられます。